

2013年4月7日 主日礼拝（誕生祝福式・洗礼式）

プレイズ
奏 楽
賛 美 聖歌480番（感謝しつつ主の門に）
（栄光から栄光へと）

主の祈り
聖 書 マルコによる福音書 16章14～20節
音 楽 宮田四郎兄

メッセージ「何かが始り始めている」

大川従道牧師

賛 美 「虫にもひとしき」(613番・献金)
主の祈り 「ハレルヤ！」(いやしの祈り)
祝 禱

「もし信じるなら、神の栄光を見る。」

(ヨハネ十一の四十)



焔の中の宝物

友人の牧師からこんな話を聞いたことがある。

「私は日頃気をつけていることが一つある。それは、次の言葉をできるだけ口にしないことだ」と。「忙しい！」「疲れた！」「困った！」。さらにこんなふうにも言った。「ため息をつかないこと。ため息を一回つくごとに神様からの恵みが一つずつ逃げていきますよ」と。

私たちは一日のうち、何度ため息をつき、何度こうしたことばを口にすることだろう。

「だって、実際忙しいんだもの！」「だって、本当に疲れるんだもの！」

みなさんからの「だって、だって！」が、今にも聞こえてきそう。しかし、忙しい時に「忙しい！」とぼやいてみても何の足しにもならない。「疲れた！」と言ってみても疲れがとれるわけでもない。分かってはいるがつい口に出してしまう。困った時も同じ。つい、「困った、困った」と口走ってしまう。

そんな時こそ、ぼやいているより、屋上にでも上がって天を仰いで、「神様、感謝します！」と言ってみたらどうだろう。確かに、困っている時に「助けてください！」と言うのなら分かるが、「神様、感謝します！」ではどうもよくわからないといわれるかもしれない。しかし、聖書の中にはこんな言葉がある。「口をちりにつけよ。もしや希望があるかもしれない」(哀歌3の29)と。

一見不合理なことの中に真理がある。ちりに口づけすれば、つまり全く無意味と思われることの中からも、神は事を起こして下さる。そこにもはかり知れない希望がある。だからこそ、困惑のただ中にあっても、「神様、感謝します！」と言えるのではないか。

「ありのままを生きる」東後勝明著

生活の中における大小の逆境こそ、神様のテストです。

「すべてのことにおいてヨブは罪を犯さず、また神に向かって愚かなことを言わなかった」(ヨブ記1の22)。

逆境の中で、「主よ、感謝します」と言って試練を主からのものとして受け入れ、気持ちを転換するなら、主のすばらしい祝福に預かることができます。

大塚 信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース: 士師記20章～サムエル記上14章 Bコース: ルカ11章～14章

【町田ニュース】

- ・ 大川牧師が無事に帰国しました。・ 入園・入学おめでとうございます。
- ・ 先週の「春のお花見会」は天候も守られ楽しかったですね(大人15名、子ども8名参加)。
- ・ 先月の国際飢餓対策への募金は5,568円でした。感謝します。
- ・ 祈禱会は水曜7時半と木10時半。説教は大川牧師。聖餐式あり。
- ・ 準備祈禱会は金曜9時。説教は久保田伝道師。
- ・ 土曜日3時、相模メモリアルパークで召天者記念礼拝と納骨式があります。直接関係者は2時集合。(江尻姉と花岡姉は来週礼拝に出席されます)
- ・ 今週の「リバイバル祈禱会」は、召天者記念礼拝のためお休みです。
- ・ 18日(木)は「ほっとママの会」。28日「お琴演奏会」
- ・ 5月3日(金・祝)19時大和で祈禱大聖会。三坂正治牧師(関東栄光教会)
- ・ 今年も通読表を用い、貪るように聖書を読みましょう。